



# FLAMINGO

令和8年4月30日発行  
横浜市立荏田南小学校  
学校だより 5月号

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edaminami/>



## デジタル技術を学習に活用！

校長 阿部 千鶴

通学路のハナミズキ、ツツジの花が一斉に花開きました。風薫る5月、新緑の季節を迎えました。

新学期が始まって1か月がたとうとしています。4月7日に入学した1年生も、多くの方々に見守られながら元気に登校しています。初めての給食、初めての休み時間、初めての勉強と、すこしずつ学校生活のリズムにも慣れてきています。

私は、文部科学省の中央教育審議会（中教審）に設置されている、デジタル教科書推進ワーキンググループの委員を務めています。報道にもあった通り、令和30年からの新しい教科書は、紙のみ、デジタルのみ、紙とデジタルの両方の形態のもの（ハイブリット）が可能となります。各自治体でいずれかを採択し、教科書として使っていくことになりました。

一人一台の端末が整備され、日常的に活用されている現在、デジタル教材は有効に活用していきたいものです。本校では、今年度から3年生以上と個別支援級で、国語のデジタル教科書を導入します。これまで、国語が苦手な児童は、音読するために漢字にふりがなをふるなどの工夫をしていました。デジタル教科書があれば、ボタン一つでふりがなをつけたり文節ごとに区切ったりしてくれます。また、マイ黒板機能により、自分の考えを書く際に、指でなぞるだけで本文をぬきだしてくれます。これにより、書くことよりも考えることに注力することができます。

また、放送大学と共同で、デジタル教科書実証研究にも協力します（主に3年3組）。本校の活用が全国の参考になればよいと思いますし、デジタル教科書がさらに使いやすいものになることを願っています。

今年度から、AIドリルを市費で使えるようになりました。AIドリルMonoxer（モノグサ）は、

- ・一人ひとりにちょうどいい問題を出してくれます。
- ・忘れそうなタイミングで復習させてくれます。
- ・学習状況がデータで見られます。
- ・得意な子は、どんどんレベルアップし、苦手な子は、基礎をしっかりと反復できます。

昨年度から活用している、電子書籍Yomokka（よもっか）も、子どもたちに人気です。好きな本がすぐに手元で読めるからです。

デジタルもアナログも大切にしながら、いいところ取りをしていきたいと思います。

